



編集・発行 邑楽町役場企画課  
 〒 370-0692 (住所記入不要)  
 ☎ 0276-88-5511 (代表)  
 ☎ 0276-47-5007 (企画課直通)  
 ☎ 0276-89-0136  
 http://www.town.oragunma.jp  
 ✉ koho@town.oragunma.jp

邑楽町携帯サイト  
 2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。  
 携帯用URL http://www.town.oragunma.jp/k



〈第六十二回〉

若い人たちに語り継ぎたい、  
 次の世代に残しておきたい。  
 貴重な話をお届けしますー。

## あすへひとこと

いつの時代までも残したい

### 邑楽町の昔ばなし



坪谷の集会所の一角に少し高くなっている場所があります。赤い鳥居をくぐり、その上にあるほこらに御嶽神社が祭られています。

#### 御嶽神社参り

坪谷の一部の家では木曾の御嶽様を信仰しています。

御嶽神社（長野県）は火災・盗難除けの神として昔から多くの信仰を集めています。信者のうちには御嶽講をつくって毎年のように参詣する人々も大勢おられます。

満州事変が勃発した昭和6年、出征兵士の武運長久と家内安全祈願のため、義母が講の人たちとお参りをしました。

あれから七十年近くなりますが、義母が話した御嶽参りの様子を昨日のこのように思い出します。そのときの服装は、簡単に身につくみどかき、足は脚半に地下足袋のいでたちで、手には六角の長い杖を持って行きました。

険しい岩肌を、「六根清浄、六根清浄」と唱えながら頂上を目指して這い上り、汗だくの体で、ついにお山の奥宮に到着したそうです。まず体を清め、気持ち落ち着かせて、ご祈禱を済ませ、やっと一安心。そこで体を休め、下山の準備です。休憩の後、いよいよ下山です。

途中険しい岩場に出合い、岩にかじりついて後ろ向きになって這って下山している時、わずかに雲行きが悪くなり、稲妻が下の方から鳴り響き、雨は下から上

に吹きまくり、生まれて始めて生きた心地がしなかった、恐ろしいことに出合っただけです。

やっこのことで下山も終わり、無事帰宅しましたが、一安心の余り、二三日寝込んでしまいました。そのとき、「お前のような、か細い体の者は、絶対お山に出してやれない」と申しておりました。

あれから年月が過ぎ去りましたが、平成8年の夏のこと、昔、御嶽神社を信仰していた家族の人たち6人ほどと、御嶽神社参拝に行ってきました。先ほどの話は、まさに昔話になってしまいました。近頃は乗り物を利用しますので容易に参拝できます。それでも、男の人でも歩き慣れないので疲れたと申しておりました。

ところで御嶽信仰が盛んだったころ、坪谷の人たちは御嶽神社をこの地に勧請しました。坪谷の稲荷神社の境内に小高い丘を築き、お山になぞらえ石宮を建ててお祭りしてきました。住民は現在も信仰心を持って立派に御嶽神社を守護しております。



ほこらには御嶽神社の札が祭られています

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会  
 平成10年12月31日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



実るほど…  
 (篠塚地内)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)

#### ひとりごと From editors

▶秋は「〇〇の秋」。今月号では幼保小中の運動会、そして町民体育祭にとスポーツの秋を感じる取材が多かったです。レンズをのぞけば、必死に走る人や時間が来ても玉を投げ続ける人などなど(笑)、やっぱりスポーツっていいなと感じ、ふと自分のボディに目をうつすと…まん丸とした体…(泣)。げっ、これはまずい!と思い、最近プールに通い始めました!…やり始めたのはいいもの…食欲の秋が私を誘惑。スポーツの後の…がたまらないんですね。▶先日、先輩に「ん?わが家のアイドルの文章が少し変わったねえ」と言われました。そこで、すかさず「父になったからです!!!!」と言。やっぱり何事も変化って大事だな〜と、思ったのも束の間、ここで文章に変化を出せず、仕事も体も「幽みの秋」です。(本澤)



この広報紙は、自然保護のため植物油インキを使用しています。